

令和4年度 第2回松本市教育文化センター運営委員会 会議録

1 日時

令和5年3月10日（金）午前10時～正午

2 場所

教育文化センター1階 講義室

3 出席者

- (1) 委員 澤柿会長、松田職務代理、坂口委員、原委員、百瀬（英）委員、小幡委員、木下委員（坂口委員、百瀬（淳）は欠席）
- (2) 事務局 臼井教育政策課長、高橋教育文化センター所長、一ノ瀬科学博物館長、小林指導主事、上條指導主事、望月主任

4 内容

- (1) 開会
- (2) 会議事項

ア 令和4年度事業の実施状況等

- (ア) 令和4年度は新たに信大と連携したサイエンスセミナー等を実施した。
- (イ) 星空プログラミング講座等、市民参加型の講座も充実した。
- (ウ) 学校等からの要望に基づき、授業づくり支援や探究的な活動の支援をする「探究パック」事業を実施した。

【質問や意見等】

- ・ 探究パック事業について、積極的に広めてほしい。校長会等で周知を。博物館等の他施設とも連携しながら、理科だけでなく人文社会科学も実施してほしい。
- ・ 松本市教育会と連携して、教育会に保存されている教材をデータベース化し、事業へ活用してはどうか。

イ 教育文化センター再整備事業について

- (ア) 令和5年度の方向性として、アドバイザー等の意見を踏まえつつもコストを極力かけない整備となるよう、真に必要な機能や整備内容の内部検討をすすめる。
- (イ) 基本理念や事業計画等のソフト面はアドバイザー等の意見を最大限に生かし、継承する。ハード面に関して、必要不可欠な設備備品を配備する。施設は冷暖房や照明など特に老朽化の激しい箇所を優先的に改修する。

【質問や意見等】

- ・ 旧山辺学校校舎や博物館、文化財課と連携し、歴史学習や平和学習を含む、人文社会科学の分野も積極的に取り扱ってほしい。
- ・ 科学展示室は固定的な展示の更新はしないとしても、映像を活用した展示内容のアップデートを検討、実施してほしい。

ウ 運営委員会の委員改選について

- (ア) 任期は2年であり、現在の任期は令和5年9月30日に終了となる。新たな委

員の選出について、アドバイザー会議で協力をいただいた方に委員を依頼する方向性で検討中。

(イ) 運営委員会は年2回の開催を予定しているが、来年度は委員改選後に2回開催をする予定。

エ その他、全体を通しての意見等

【質問や意見等】

- ・ これだけ多くの事業をやっているが、職員数が不足していないか心配である。松本市の方針として、子どもたちの支援等に力を入れるのならば、職員数を増やしていただきたい。。
- ・ 今後、旧山辺学校校舎との連携を考えた場合、委員として地元の方や歴史関係に詳しい方に入っていただくのも良いのではないか。
- ・ 教育文化センターの事業も進化や深化しており、様々なチャレンジの中で子どもと大人を共に育てている。芳川小学校では探究パック事業として、セイコーエプソン株式会社と連携し、卒業式行事の支援をしていただく予定。
- ・ 教育は100年の大計なので、教育にお金をかけなければいけない。自然科学は子どもに夢を与える仕事ですので、職員の皆さんには頑張っていただきたい。

(3) 閉会